



1

放射線の基礎知識と健康影響 Q&A

Q：放射線健康影響におけるリスクの考え方とは

A：リスク(危険)とは

- ① 被害の影響の大きさ
- ② 被害が発生する可能性 (確率)
- ③ 影響の大きさと可能性 (確率)の組み合わせ

*「リスクある」・「リスクなし」ではなく、定量的に表したもの
*(数値を用いて)

特に放射線の確率的影響では

「リスク」＝

「(発がん、もしくはがんで死亡する) 確率」

「リスクがある」≠「(必ず) 被害を受ける」

低レベル放射線によるがんのリスクを評価する場合には、主に広島・長崎の原爆被爆者集団の疫学調査の結果を用いています。

放射線被ばく量とがん発生の関係はおよそ150ミリシーベルト以上では、ほぼ直線的に線量と共にリスクが上昇することは分かっています。しかし、150ミリシーベルトより低い線量では、直線的にリスクが上昇するかどうかは明らかになっていません。

いまだに低い線量における線量とがんリスクは、比例関係にあるのか、あるいは別の関係があるのかは、研究者によっても意見が分かれています。「こわい」というイメージが、先行しがちな放射線ですが、シーベルトで表された放射線の数値がどれくらいのものなのか、自分自身のものさしを持つことが重要だと思います。

発行者

広野町健康福祉課放射線健康相談係 0240-27-2113

食品のモニタリング結果総括表

(令和3年6月実施分)

【基準値】: 一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のない食品	検査数	基準値未満	基準値以上	備考 (基準値以上の品目)
野菜	14	14	0	
根菜・芋類	-	-	-	
山菜・きのこ	-	-	-	
果物	21	21	0	
穀類	-	-	-	
種実類	-	-	-	
魚介類	-	-	-	
加工食品	-	-	-	
飲料水	-	-	-	
その他(肉類など)	-	-	-	
総検査数	35	35	0	

食品モニタリング結果の詳細については、公民館1階の放射能簡易分析センターと放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

右のQRコードを読み取ったあと、東日本大震災復興関連情報→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。



場 所 公民館1階 放射能簡易分析センター
 曜 日 月曜日から金曜日(祝日を除く)
 受付時間 午前8時30分～午後4時30分まで

広野町各地区の放射線量

令和3年7月13日13時30分現在(天候:曇り)の町内各地区代表的な個所のモニタリングポストの数値をお知らせします。

測定箇所	放射線量率($\mu\text{Sv/h}$)	測定箇所	放射線量率($\mu\text{Sv/h}$)
広野小学校	0.07	広野町役場	0.08
広野中学校	0.07	高速バス利用者駐車場	0.15
広洋台地区集会所	0.08	上田郷橋付近 ^{注1}	0.11
ニツ沼公園 ^{注2}	0.07	北沢複合交差点	0.13
長畑地区集会所	0.12	県道広野～小高線沿	0.14
小滝平浄水場 ^{注2}	0.07	仮置場	0.09

注1 平成29年3月設置

注2 ニツ沼公園、小滝平浄水場のモニタリングポストは現地ではnGy/h(ナノグレイ毎時)で表示されていますが、 $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)に換算して掲載しています。